

2005年2月8日

「サービス介助士」の資格取得に取り組めます

JR東日本では、多くのお客さまに安心して鉄道をご利用いただくことを目指し、「サービス介助士」の資格取得を推進します。この取り組みを通じて、JR東日本エリア内の主要駅を中心に、資格を取得した社員が習得した知識や技術を活用してご高齢のお客さまやお身体の不自由なお客さまなどが駅や列車をご利用になる際に、お客さまの視点に立ったよりきめ細やかなサービスを提供してまいります。

JR東日本は、引き続きエレベーターなど設備の整備を進めるとともに、このたびの資格取得の取り組みによりハード・ソフト両面でのバリアフリーの推進に取り組み、皆様から安心してご利用いただくことのできる鉄道を目指してまいります。

1. 資格の概要について

名 称：「サービス介助士(ケアフィッター)」

内 容： 高齢者やお身体の不自由な方が施設を利用する際などに必要な介助に関する知識や技術(車いすの操作や聴覚・視覚障害者のご案内など)のほか、「おもてなしの心」の理念を習得した者に対して認定される資格(民間資格)です。

認定機関： NPO(特定非営利活動)法人 日本ケアフィットサービス協会

2. 資格取得の取り組みについて

対 象 者： 駅関係社員を中心としてお客さまと対応する業務に従事する社員

資格取得者数： 2005年度 600名程度

配置箇所： 2008年度までにJR東日本管内の主な駅にサービス介助士を配置することを目標とします。

3. 実施時期

2005年4月から資格取得の取り組みを開始します。